

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和4年1月21日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に基づく十分なスペースが確保されています。 療育内容や活動に合わせてスペースを有効に使えるように工夫しております。	今後も療育や活動の内容、児童の個性に配慮して、空間を有効に活用してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		法令で求められた配置基準に沿って人数を配置し、かつ有資格者、専門職で対応しております。	より良い支援ができるよう、今後も児童数に応じて職員配置をし、対応してまいります。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		現在該当はないが、階段は職員が必ず付き添って昇降しており、安全面への配慮に努めております。	事業所内でバリアフリー化が課題となる箇所が見つかった場合は、その都度対応できるようにしてまいります。階段の昇降は必ず職員が付き添い、安全に配慮してまいります。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	○		全職員が確認できる連絡ノートや、リフレクション会議で情報共有し、業務改善に努めております。	今後もより良い支援を提供していただけるよう、その都度全職員で話し合い、業務の改善策について検討してまいります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回アンケートを実施し、そのご意見を全職員で周知・検討し、業務の改善に努めております。	今後も保護者様からいただいたご意見をもとに、より良い支援ができるように努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。	今後も事業所内研修を継続し、必要に応じて外部研修等にも参加し、職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントを定期的実施し、児童の状況や保護者様のご意見を踏まえ適切に作成しております。	今後も保護者様のご意向を踏まえうえで、支援計画を作成してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		現在は基本の標準化されたアセスメントのみを実施し、適応行動の状況を把握しております。	今後必要部分は改善していき、より正確にアセスメントできるよう努めてまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、児童の特性や課題に応じて立案しております。	専門的な視点や意見を取り入れながら、チーム全体でより内容の濃い活動プログラムを立案してまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に合わせた制作・行事や集団療育も取り入れて固定化しないように工夫しております。	今後も、児童が意欲的に楽しんで取り組めるよう職員間で話し合い、固定化することがないようにプログラムを検討してまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日や長期休暇など支援時間が長く取れるときには集団活動での他児との関わりを増やしたり、児童の状況に応じた課題を設定し、経験に繋げていけるように支援しております。	今後も平日、休日、長期休暇に応じた課題をきめ細やかに設定し、児童が楽しく活動に参加できるよう支援してまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		それぞれの児童に必要な支援ができるように、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ計画を作成しております。	今後も個別活動と集団活動をバランス良く組み合わせ、より良い支援ができるよう計画を作成してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日の流れや役割分担については毎朝確認し、情報共有を図っています。支援の内容については記録を確認し、気付いたことがあればすぐに話し合っております。	朝礼では細やかな内容の確認までは毎回で情報共有の徹底のため話し合いを含めた打ち合わせや役割分担を話し合っているよう努めてまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○		支援終了後は送迎等で難しい面もあり、翌日朝礼の場で気付いた点や、気になること等を話し合える時間を設けられるようにしております。	今後も時間を見つけ、即日、もしくは翌日に情報共有の徹底のため話し合いの場を持ち、より良い支援に繋げてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援経過記録には支援内容だけでなく、その日の体調面や様子、気付いた点や、気になること等を合わせて正しく記入しています。職員間で伝え合い情報共有をしております。	より分かりやすく職員間で検証、改善、情報共有し、より良い支援に繋げていけるように、支援経過記録を改善してまいります。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施し、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえて計画の見直しや作成をおこなっております。	今後も定期的に計画の見直しや作成をおこなってまいります。
関係機関や保護者との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		児童の課題や状況・計画内容を考察し、総則の基本活動を複数組み合わせ支援をおこなっております。	今後も基本活動を複数組み合わせ支援に努め、より良い支援に繋げてまいります。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を把握している職員が参加しております。	今年度はコロナ禍でもあり、電話での対応が主になっており、対面での参加はできない場合もありましたが、今後はできるだけ参加し、情報を交換し、計画や支援に活かしてまいります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		下校時間は学校からの手紙や保護者様から情報をいただき、適切に調整できております。急な変更については、速やかに対応するよう心がけております。	今後も継続して学校やご家庭と密に連絡を取り合い、送迎にずれが生じることなどがないよう、職員間でも共有し連絡調整に努めてまいります。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		コロナ禍でもあり、現時点では相談支援員や保護者様との情報の共有はしていますが、関係機関との直接的な情報交換はできておりません。	コロナ収束後には、関係機関との直接的な情報交換の機会を設け、情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在までに該当する児童がいないため情報提供には至っておりません。	今後該当する児童があった場合、関係機関等への支援内容や活動状況等の情報を提供し、移行先での活動に役立てて頂きたいと思っております。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所を併用している児童については担当者会議で情報共有に努め、相談支援専門員を通して様子を伝えるなど連携に努めております。	今後は積極的に関係機関の研修会の機会を逃さず参加して助言を受け、他事業所ともより密に連携取れるように努めてまいります。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		コロナの影響もあり、事業所での交流機会はありませんでした。	保護者様のご意向を伺いながら、交流会への検討をおこなってまいります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○		コロナの影響で参加機会はありませんでした。行政からの企画案内や、外部研修、助言をいただける機会があれば積極的に参加していきたいと思っております。	今後は積極的に関係機関の研修会の機会を逃さず参加して助言を受け、他事業所ともより密に連携取れるように努めてまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、連絡帳、家庭連携等を通し、情報共有、共通理解ができるように努めております。	今後も引き続き情報交換、共通理解をしていけるように努めてまいります。
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		事業所主催での大掛かりな企画は実施できていませんが、県内で開催されるペアレント・トレーニングの講座をご案内したり、参考になる図書を紹介できるようにしています。家庭連携にて保護者様からの相談に応じ、児童との関わり等への助言や支援に努めております。	これからも保護者様に寄り添う支援ができるよう、職員も合わせて勉強、研修機会を逃さず参加してまいります。職員間でもミニ・ミーティングを実施し、より良い情報提供をしていけるよう知識や能力向上に努めてまいります。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書、契約書を通し、丁寧に説明しております。	契約時のみならず、ご質問や再度説明のご要望があればいつでも対応させていただきます。今後ともご理解頂けるよう丁寧な説明を心がけてまいります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からのお悩みや心配ごとについて伺い、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができるように心がけております。	今後も保護者様が話しやすい雰囲気作りで努めてまいります。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍もあり現時点では保護者会の開催はできておりません。	コロナ感染症の事態の収束が見られた際には、保護者様のご意向に配慮しながら、保護者同士や、職員との交流を検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情については、苦情窓口を定め、迅速に対応出来るよう整備に努めており、保護者様にも契約時に説明させていただいております。苦情をいただいた場合には、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っています。	○		苦情や申し入れの対応には苦情窓口を定め、迅速に対応出来るよう整備に努めており、保護者様にも契約時に説明させていただいております。苦情をいただいた場合には、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っています。	ご意見をいただいた場合には、苦情については真摯に受け止め、事実について丁寧に説明し、改善と環境整備に努めます。また解決に向け保護者様とのコミュニケーションを心掛けて、保護者様との信頼関係の構築に努め、出来るだけ迅速な対応をおこない、問題解決を図ってまいります。
	34 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。また年4回「COMPASS だより」を季刊発行しています。連絡帳で行事予定をお知らせ、毎月様子を写真と共に共有し、毎月事業所便りとして掲載、配布しております。	今後も継続して情報発信し、保護者様へも目を通してやすく分かりやすい「お便り」の作成に努めるなど努力してまいります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報はすべて鍵付きのキャビネットに保管しています。写真掲載や音声、動画撮影に関する個人情報についても必ず保護者様の同意を得ております。	今後も個人情報について細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		状況や特性に合わせたアイテムや、伝達方法を選択し、保護者様にも専門用語を避け分かりやすい説明や情報伝達を心掛けております。利用児童や保護者様の支援に関わる情報を全職員に周知し共有しております。	連絡帳に児童の様子を記入し、気軽に連絡を取りあえるよう、必要に応じてこちらからでも電話で様子をお聞きする等、今後も状況に応じて配慮に努めてまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現時点では事業所行事に地域住民を招待する企画は行っていません。	現在は感染症リスクもあり、実施できていない状況に限り、事業の収束が見られた際には保護者様のご意向を踏まえ、交流の機会を検討してまいります。
	非常時の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルや対策は保護者様にご覧いただけるよう、全て事業所の入り口に提示し、全職員で周知徹底しております。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		様々な災害の発生を想定して避難訓練は年間計画の元、参加する児童へ配慮しながら実施しております。	今後も非常時に備え、定期的に児童と一緒に避難訓練を実施し、保護者様には訓練時の様子を見学しながら裏面のよりでもご報告し、より分かりやすくお知らせしていきます。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		職員研修を年間計画に盛り込み、虐待防止に関する研修を実施しております。	今後も事業所内研修をはじめ、虐待に関する外部研修にも積極的に参加し、関与を決して起こさず意識的に関わられるよう、職員間で話し合いを継続し、周知徹底してまいります。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在、身体拘束が必要と思われる児童の受け入れはありません。利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されており、生命又は身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合には、予め書面による保護者様の同意を得ることとしております。	今後も原則として「身体拘束を行わない基本姿勢」を遵守します。緊急時、または児童の命に関わる事象が起きる可能性がある場合の止むを得ない状況に限りおこなわれることを保護者様に十分説明を尽くし、同意を得て、個別支援計画にも記載してまいります。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現時点で医師の指示書が必要な児童はありませんが、事前に保護者様より詳しく情報をいただき全職員で共有しています。	今後も保護者様から詳細に情報をいただき、全職員への周知を徹底し細心の注意を払ってまいります。
43 ヒヤリハット事例を共有して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、事例はファイリット報告書、ヒヤリハット報告書を作成した時は全職員が内容を確認し、押印して再発防止に繋がっております。	今後も記録の徹底、情報の共有・認識一致のうえ、再発防止に向けて職員間で話し合い、その都度振り返りを心掛けてまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。